

琉球・沖縄 年中行事 Q&A

「町の工事」の際の御願と「ウチャトー」について



●Answer  
 沖縄市・コザ山 球陽寺 前任職  
 帰依 龍照(きえりゅうしょう)

**Q** 町が行う川の拡張工事に、持ち家の屋敷囲いの北の角がかかっており、角をつぶして水路を造る予定になっています。代々、屋敷の御願(ヤシチヌウグワン)などの御願をさせていただいていますが、工事が始まる前に、やるべきことがあるのではないかと思えます。工事の無事や、その後も何事も起こりませんようにと心配ばかりしています。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。また、町の工事となると、日取りなどは関係ないのでしょうか？

(西原町 Tさん)

**A** Tさん、大切な敷地を行われているとのことですから、まずはご安心ください。沖縄のヤシチヌウグワンには、今回のような突発的に行われる敷地の工事、地鎮祭のような要素も含まれていると考えられているからです。沖縄の年中行事には、このような事態を想定して、事前に報告を行うという意味合いもあるのだそうです。とはいうものの、工事をを行う前に、きちんと「ジーチヌカン(土地の神さま)

にウサゲ(お供えし)ておきたい」と思うなら、儀式や法要を司る専門の方(仏式の場合は住職や僧侶)に依頼するのが賢明かと思えます。

また、行政の工事であっても、地主からの日取りなどの要望には、常識的な範囲で応えてくれるのではないのでしょうか？ 実際、私のもとへも、行政の責任者の方から、「公園の樹木を伐採したいのですが、近隣のお墓の所有者から、目を選ぶように相談されました」といった問い合わせがあるのも事実です。

町の工事に協力するTさんの姿勢には、頭の下がる思いです。町の担当者と打ち合わせを行い、要望も伝えて、安心して進めていかれたらと思います。

**Q** ウチャトーのことで質問です。右左、どちらにお供えするのが正しいのですか？ わが家では、行事の前には、この話題で持ちきりになります。

(神奈川 Kさん)

**A** ウチャトーは漢字で「御茶湯」と書きまします。「ウチャトー」をはじめ、中国から伝わったとされる慣習の多くは、漢字で書かれています。そしてその解釈には、「漢字釈(IIか

んじしゃく。文字の順番から言葉の意味を解釈する考え方)」と、「金銀釈(IIきんぎんしゃく。色彩から意味を解釈する考え方)」があるようです。

漢字釈では、「先に書かれている漢字が上座」とされています。「ウチャトー」は「御茶湯」は、「茶」が「湯」よりも先にあるので、お茶は、上座である「グソヌヒジヤイ(後生から見た左側)」「私たちから見た右側)」にお供えするのが正しいということになります。

複数の茶碗やグラスを使用する場合は、こちらから見た右側から、次の順に置きましょう。3つのときは「お茶・お酒・お水」、4つの場合は「お茶・お酒・お水・お茶」、5つなら「お茶・お水・お

酒・お水・お茶」の順に。金銀釈では、お茶を「クガニム(金色)」、お酒やお水を「ナンジャムン(銀色)」と考え、金・銀を交互に置く慣習があります。「お酒とお水」を一つの「銀」とみなすので、置き方は、漢字釈とまったく同じとなります。

また、お水と書きましたが、「御茶湯」の漢字を見ると、「ト」は「湯」です。このことから、沖縄の年中行事に詳しい方は、お水ではなく白湯(さゆ)をお供えされているようです。参考になさってください。

切り取ってお仏壇のそばに置いておけば、迷わなくていいはずね~



イラスト：帰依ひろ子

【質問をお寄せください】 年中行事やしきたりに関して、日ごろから疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q&A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は22面をご覧ください。

帰依 龍照 1968年岡山県出身(満47歳) / 学歴:岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒 / 専門分野:哲学(宗教哲学) / 沖縄県内で年間多数の住宅起工式(地鎮祭)を担当しつつ、小学校~大学まで、いじめ・不登校・進学・就職に関する講演活動を行う / 著書:「琉球・沖縄 儀式・法要事典 作法・心得編」県内有名書店にて発売中 / 最近、長男に住職の家督を譲り、前任職(ぜんじゅうしよく)となりました